



最高を超える山田錦プロジェクト2024

瀬祭グランプリ 最終選考に参加しての感想



生産者通信

(有)エコ・ライス新編
定価 100円(送料込)

阿賀野市
丸山 拓也



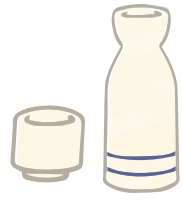
この度「最高を超える山田錦プロジェクト」に参加させてもらい、誠にありがとうございます。私は、山田錦を栽培して3年目になります。令和6年産に関しては、初めて新潟県予選を突破して、もしかしたらなど思っておりました。結果は機械判定で落選しました。栽培に関しては収量を上げること、心白を小さくすることは、とても難しいものだと思います。どんな思いで皆様が栽培しているのか、また日頃からどんな思いで取り組んでいるのか、できれば生の声を聞きたいと思

いました。豊永社長から電話が入り「丸山さん表彰式参加しませんか。」と言われ、最初はビックリしました。新潟予選通過したものの、本選の機械判定ですでに落選しているのに誘っていただけるなんて、本当に光栄に思いました。会場ですんだことですが、皆様が当たり前だと思える点も多くあるのですが、桜井会長、桜井社長、その他の方々のお話やデイスカッションした内容をメモしたのでお伝えしたいと思います。

- ① 山田錦とは
 - ・もつとも酒作りに適した米。
 - ・大正時代の米。
 - ・兵庫から全国に。
 - ・温暖化が進んでいるため米も北上している。
- ② 日本酒の無形文化遺産について
 - ・文化遺産ではなく文化資産にする。
 - ・伝承していくことが重要。
 - ・瀬祭は味わいを追っかけているから、低
- ③ 瀬祭が求めている山田錦
 - ・小さな心白にするこ
 - とが1番。
 - ・心白が大きいと崩れてしまう。
 - ・純米の場合はこちらだ。
 - ・線状心白は気温に左右される。高温が続いていると出やすい。
- ④ 人生観について
 - ・失敗を乗り越えていくからこそプロ。
 - ・成長する人はこれをする。
- ⑤ アメリカ(アーカンソン州)の米について
 - ・アメリカは3年に1回しか米を作付けしない。(連作しない)



- ・アメリカの米の質はそこそこ良い。(大規模でも良い品質の米が取れる)
- ⑥ 今後の農業について
 - ・国営化するのも一つの手段。
 - ・法律は社会情勢にあっていない。
 - ・農協は自分たちに主導権を統制したいと思っている。JAは変わらないし変わらない。
 - ・崇高なかつこい農業にならないといけない。
 - ・理系と文系農家が出てさまざまな方向からアプローチをする。
 - ・「仕事辞めて農家になろうかな」とかそう言う安い考えの農業は衰退の一つ。
 - ・単純作業はAIでやり、難しいのは人間やる。



私の感想です。今回、桜井会長、桜井社長、精米責任者榎本様、グランプリを取られた早乙女農場の早乙女様のお話を聞き、一番重要なのは「数値やデータ」だと感じました。作る工程は人それぞれ違います。自分のやり方が合っていないのか、合っていないのか、データがなければ、自分がどの方向に向かっているのかわかりません。皆様は当たり前前やっている事かもしれませんが、私も、とても大切なことをしていない、出来ていないと実感しました。早乙女様は検査員とのことで、製品を調べ、1回目では3等に近く、それを再度調整し、紙袋で出荷したとのこと。一度で結果を出さず、再度チェックし検査員の目やデータがあったからこそグランプリなれたのだと感じました。

《裏面に続く》